

# 図書館員のおすすめ本

## 小学生

### 低学年（1・2年生向け）



#### 『漁師犬タロウ』

尾崎 たまき：写真・文  
／新日本出版社

#### 【内容紹介】

飼い主の漁師キンちゃんといっしょに船に乗り、みんなから漁師犬タロウと呼ばれる犬のタロウ。

2011年3月11日の津波でタロウはながされ、9日かけて生還。海が変わり、船も流されて漁ができない毎日にもあきらめず漁師犬復活。でもタロウは歳をとり……。

タロウとキンちゃんの深いつながりが、心を温かくする写真絵本。

#### 【図書館員からのコメント】

自然の中でいきいきと暮らすタロウ。飼い主のキンちゃんと一緒にいる時のうれしそうな表情に癒されます。飼い主とペットという関係を超えた強い絆を感じ、優しい気持ちになる絵本です。

### 中学年（3・4年生向け）



#### 『しってる？知らない？』

#### 漢字びっくり事典』

金田一 秀穂：監修, こざき ゆう：文  
加納 徳博：絵／ポプラ社

#### 【内容紹介】

知っているようで知らない漢字の歴史やなりたち、誰かに話したくなる難読漢字。「電」の中には神様がひそんでいる!? 「友」は手を取り合い、助け合う意味がある…など。面白くてタメになる! 漢字のひみつ、大公開!!

#### 【図書館員からのコメント】

漢字を書く時に思い出せなかったり、「書き順」があいまいなことがあります。そもそも、どのようにして漢字ができたのか? なんで書き順があるのか? 漢字にまつわる様々な疑問に答えてくれる1冊です。改めて、漢字の大切さを知ることができました。

### 高学年（5・6年生向け）



#### 『想像を超える海の非常識ペディア』

#### 海の生物なんでそうなるの!?

#### 研究所』

今泉 忠明：監修, 今泉 智人：監修  
／主婦と生活社

#### 【内容紹介】

海の仲間たちの面白い生態・特徴ごとに章立てし、見やすいイラストとともに「なんでそうなるの?!」と思わず突っ込みたくなる海の生物を紹介しています。

各生物の解説ページにあるクイズコーナーや章の合間のコラムには、もう一步海の仲間たちに詳しくなれる・関心が高まるような情報が満載!

#### 【図書館職員からのコメント】

生き物の面白い生態や特徴などに、本物を見に行きたくなる1冊。生き物について、もっと知りたいと興味を掻き立てられました。

## 中学生

### 『大人に言えない小さな悩みが少しだけ軽くなる本』

第1巻 学校のこと

田村 節子：監修

／Gakken



#### 【内容紹介】

思春期の小中学生が抱える、リアルな悩みを紹介。第1巻の内容は勉強・受験・部活・将来(進路)について。『第2巻』『第3巻』の内容は対人関係、容姿、性格、恋愛、趣味などについてですが、マンガで丁寧にひも解きます。いろいろなタイプの小中学生が登場するので、より多くの子どもたちに響く内容です。自分自身の悩みが軽くなるだけでなく、周りの子どもたちがどんなことで悩んでいるか知ることができます。

#### 【図書館員からのコメント】

自分が中学生だった頃に出会いたかった本です。身近な人に相談するのも…という時に、こんな本があったら心強いのではないかと思います。

### 『みんなで描こう! 黒板アート』

すずき らな：著

子供の科学編集部：編／誠文堂新光社

#### 【内容紹介】

数々の学校へ渡り、多くの子どもたちに驚きや感動、笑顔を与えてきた黒板アーティスト・すずきらなさん直伝の、「黒板アート」の描き方やテクニックを紹介。学校ですぐにでもまねをしたくなる、アイデアやサンプルがいっぱい並んでいます。ひとりでも、大人数でも、この本を開けば誰でも「黒板アート」を楽しめる、そんな一冊です。

#### 【図書館員からのコメント】

卒業式や文化祭などで黒板アートを描く学校も多いのではないのでしょうか。大きな黒板に描かれる黒板アートは迫力がありますよね。この本では、初級編・中級編・上級編と段階を踏んだ描き方がわかりやすく説明されています。いろいろな作品の写真も豊富に楽しめますよ。

### 『妖花魔草物語』

廣嶋 玲子：作

まくら くらま：絵

／小峰書店



#### 【内容紹介】

魔力を秘めた植物は、人の心に根をおろす。花で惑わし、香りで操り、毒の蜜でかき乱す。伝説のマンドラゴラ、食虫植物のウツボカズラ、神秘的な月下美人などにまつわる不気味で不思議な植物の物語10篇を収録。

#### 【図書館職員からのコメント】

世界各地にまつわる植物の物語は、美しくも妖しい雰囲気をもっています。そして、1話読み終わるごとに、登場する植物について姿や香りを自然と想像してしまいました。